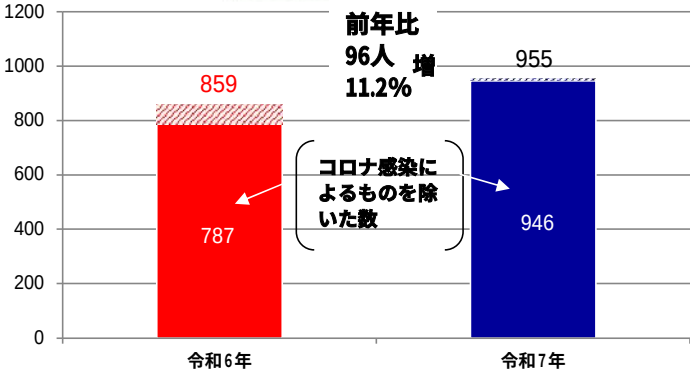
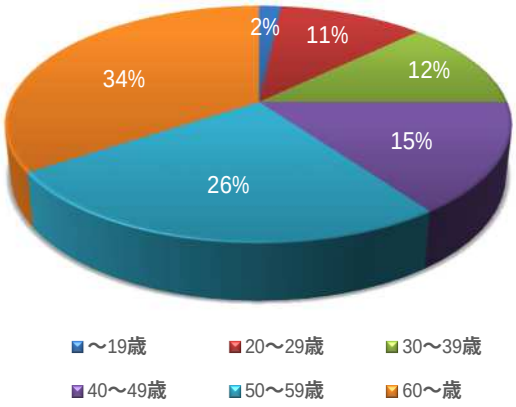
福井労働局 令和7年労働災害発生状況

<令和７年確定値>

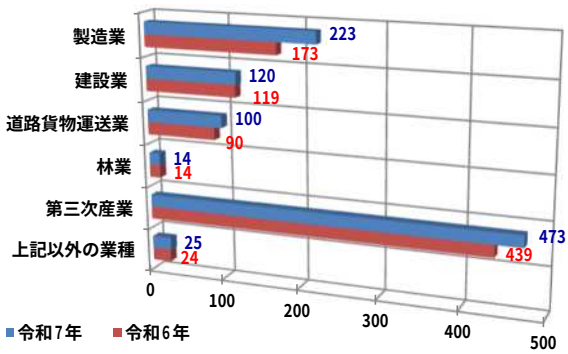
全業種



年齢別



業種別

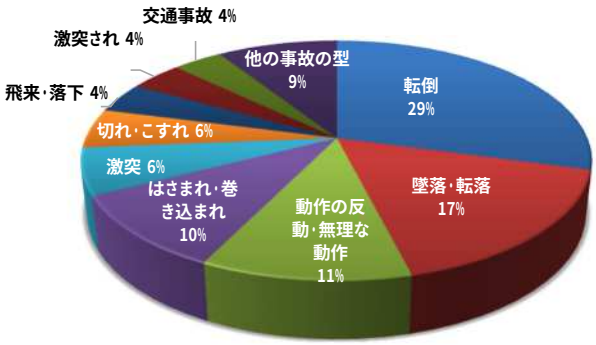


死亡災害発生状況

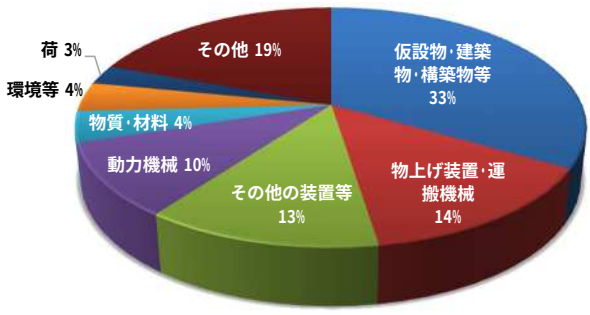
1人

(令和７年確定値)

事故の型別



起因物別



災害動向のポイント

製造業、道路貨物運送業、第三次産業において前年同時期より増加している。

事故の型別では、転倒災害（279件、前年比13%増）が最も多く、全体の29%を占め、次いで、墜落･転落災害（161件、同21%増）が17%、動作の反動･無理な動作（107件、同43%増）が11%を占めている。これら、労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策が重要である。

年齢別では、60 歳以上の高年齢者災害が 34.0%を占めており、高年齢者災害防止対策の推進が重要である。